

生態リスク初期評価 再評価物質の新旧結果 (再評価を実施した2物質を再掲)

番号	物質名 [CAS番号]	前回の評価結果									第20次取りまとめ評価結果 ^(注1)										
		有害性評価(PNECの根拠)			アセス メント 係数	予測 無影響濃度 PNEC(μg/L)	公共 用水域	予測 環境中濃度 PEC(μg/L)	PEC/ PNEC比	総合的 な判定 (注2,3)	取りま とめ	有害性評価(PNECの根拠)			アセス メント 係数	予測無影響 濃度 PNEC (μg/L)	公共 用水域	予測環境中 濃度 PEC (μg/L)	PEC/ PNEC比	総合的 な判定 (注2)	変更概要
		生物種	急性/ 慢性	エンド ポイント								生物種	急性/ 慢性	エンド ポイント							
環境3	2,4-ジクロロアニリン [554-00-7]	甲殻類 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	10	0.5	淡水 ＜ 0.05 海水 ＜ 0.05	＜ 0.1	○	第14次	甲殻類等 オオミジンコ	慢性	NOEC 繁殖阻害	10	0.5	淡水 0.0028 海水 0.0024	0.006 0.005	○	新しい水質調査結果を入手し、PECが変更された。 生態毒性に関する知見を新たに入手したが、PNECの変更はなかった。 評価結果は、前回からの変更はなく「現時点では更なる作業の必要性は低い」とされた。		
環境6	N-ニトロソジメチルアミン [62-75-9]	甲殻類 ヨコエビ属	急性	LC ₅₀ 死亡	1,000	280	淡水 — 海水 —	—	○	第10次	甲殻類等 ヨコエビ属	急性	LC ₅₀ 死亡	1,000	280	淡水 0.0081 海水 ＜ 0.06	0.00003 ＜ 0.0002	○	新しい水質調査結果を入手し、PECが変更された。 生態毒性に関する新たな知見はなく、PNECの変更はなかった。 評価結果は、前回からの変更はなく「現時点では更なる作業の必要性は低い」とされた。		

(注1) 表中の網掛けは、前回評価結果からの変更箇所を示す。

(注2) ○:現時点では更なる作業の必要性は低い、▲:更なる関連情報の収集に努める必要がある、■:詳細な評価を行う候補、×:現時点ではリスクの判定はできない。

(注3) 総合的な判定は、第15次取りまとめまでは「評価結果」という項目名で表記されている。

(注4) 表中において、—はデータ等がないことを示す。